

平成24年度事業計画及び収支予算書

財団法人群馬県馬事公苑

平成24年度財団法人群馬県馬事公苑事業計画及び収支予算について

1. 事業計画

平成23年度は、昨年3月11日に発生した東日本大震災後の影響を受け一般利用者は減少した中、新規乗馬体験コース、休苑者向けの乗馬コースなどを実施により新規利用者の誘致、リピーターの確保や安全に乗馬を楽しんでいただくための様々なサービスの提供を実施してきたところであります。

その結果、平成24年2月末現在の利用実績は、主要事業である通常乗馬の利用鞍数は記録的な夏季の猛暑、冬季の低温などにより利用者が減少したことが原因し利用料金収入は対前年比91.4%の大幅な減少となり、企画事業では初心者向けの乗馬体験コース、休苑者を対象にした乗馬コースの新設や公苑大会を増やしたことなどにより対前年比113.3%増加しましたが、事業全体の収入においては対前年比95.1%の減少となっております。

平成24年度は、法人組織としては特例民法法人からの移行認定を受け公益財団法人として新たにスタートすることとなります。また、指定管理者として21年度からの第2期に引き続き、3年間の指定を受けましたが、今期については、管理業務に大幅な変更があり、これまで主要業務とされてきました乗馬指導業務が公苑の自主事業となり、また、馬を預かる受託業務が実施できるなど業務範囲が広がりました。このように大きな変革期にあたることから法人として自立的経営に向けた体質改善と基盤の強化を図り、収支の安定化と効率的な管理運営に努めます。

事業計画においては、これまでの事業内容について見直しを行うとともに新規事業の積極的な実施や利用者の視点に立ったサービスの提供、安全な乗馬の確保に努め、馬事公苑施設における乗馬提供が県民に広く公平に開かれた事業であることをアピールすることにより県内外からの誘客、乗馬人口の定着化を図るほか、各種機関、周辺関係団体と連携した公益活動にも力を入れた事業運営を展開していくこととする。

(1) 委託管理事業

「群馬県馬事公苑の管理及び運営に関する基本協定書」及び「群馬県馬事公苑管理及び運営に関する年度協定書」に基づき、群馬県馬事公苑の設置および管理に関する条例に従い、馬事公苑を管理し、県民の動物愛護心を涵養するとともに、馬に関する知識の普及と理解の促進、乗馬技術の向上に努める。

ア．委託事業の実施

通常乗馬、乗馬教室及び馬術大会等の積極的な利用促進により馬場、厩舎等の利用料金の増収を図る。

イ．施設の維持管理

来苑者が安全かつ快適に利用できるように、馬の良好な飼養管理と乗馬環境の適正な維持管理に努める。

(2) 主な自主事業

ア．乗馬の普及・啓発事業

乗馬を始めるきっかけや楽しさを提供するため、インストラクターが基礎・基本がわかりやすい指導を行うとともに、利用者が満足感を得られるサービスを実施し、乗馬人口の定着化と拡大を図る。

(ア) 通常乗馬利用のビジター制の継続

主要事業である通常乗馬利用に対しては、管理運営業務仕様書に定められた事項を堅持した上で、開苑当初からのビジター制を継続することとし不特定多数の利用者に公平、平等な乗馬利用の機会を提供する。

(イ) 大人のための短期乗馬教室

18歳以上の一般県民を対象にした乗馬教室の受講料金を減額し、広く利用機会を提供することにより、潜在的乗馬愛好者の掘り起こしを図る。

・ステップアップ特別乗馬教室

短期乗馬教室修了者を対象にしたステップアップ特別乗馬の実施により、継続利用によるリピーターの確保を図る。(年6回)

(ウ) 平日無料体験乗馬会

初心者を対象に乗馬を身近なものとして体験してもらう。(年2回)

(エ) あいぷろホースライディング交流会

県が未婚化対策として未婚者の結婚を応援するため推進している「ぐんま赤い糸プロジェクト(略称:あいぷろ)」事業に協賛、乗馬イベントの開催により新たな利用者拡大を図る。(年3回)

(オ) 現代の多様な生活スタイルに合わせた体験乗馬会

初心者を対象に乗馬を手頃で体験できる機会を提供する。

- ・希望の日時を選べる体験乗馬2回コース(年6回) 《拡充》
- ・ナイター体験乗馬2回コース(年2回)

- ・ 50才以上の方を対象にした体験乗馬4回コース（年2回） 《新規》
- ・ 公苑乗馬経験者で一定期間ブランクのある方を対象にした体験乗馬4回コース（年1回） 《新規》

（カ）障害者の乗馬利用に対し、利用料金を減免する。

（キ）積極的なPR

「馬に乗ってみたい」という潜在的乗馬愛好者に対して、広く馬事公苑の存在をアピールするため、積極的にセールス活動を展開するとともにイベント開催等の広告宣伝を行う。また、各種マスメディアに対してトピックスなどの情報提供により周知を図る。

イ．青少年の健全育成事業

次世代を担う子どもたちに動物とのふれあいの場の提供と動物愛護の精神を養うとともに乗馬技術の向上を図る。

（ア）春・夏・冬休み、秋、こどもの日体験乗馬教室に対し、利用料金を減免する。（年6回 小学3年生～高校生までを対象に開催）

（イ）親子の体験乗馬教室（年3回）

こども乗馬教室の開催前に初心者の親子を対象に乗馬を始めるきっかけの場を提供し、楽しさ、家族の理解を深めてもらう。

（ウ）乗馬少年団の活動

県内在住の小学5年生から高校生を対象に乗馬訓練を通して、青少年の育成に寄与する。

（エ）引き馬乗馬、馬とのふれあい体験の移動教室

県内の養護学校、保育園（幼稚園）など教育機関及び周辺施設に出張してポニーによる引き馬乗馬又は馬とのふれあい体験が出来る機会の場を提供する。

ウ．馬術競技の振興と競技技術の向上

施設を有効的に活用し、馬術競技の振興と競技技術の向上を図る。

（ア）公苑乗馬大会の開催

乗馬技術の向上と利用者間の親睦を目的にした乗馬大会を6回開催する。

（イ）日本馬術連盟認定B・C級騎乗者資格技能審査会の開催

馬事知識および乗馬技術向上のため、県馬術連盟の協力を得て実施する。

エ．福祉、教育機関との連携協力

乗馬を通じた青少年の育成、動物とのふれあいなどの教育活動に協力する。

(ア) 各地の学校、育成団体及び保育園等による乗馬体験、引き馬乗馬体験

(イ) 福祉施設や教育機関等が行う障害児・不登校児・自閉症児の乗馬体験活動
には、ほぼマンツーマン形式の指導による協力

(ウ) 高校生以下の団体の乗馬利用に対し、利用料金を減免する。

オ 馬具用品、グッズなどの物品の販売や企業協賛広告など乗馬利用以外の収入確保
策を県と事前協議の上実施する。 《新規》

カ 個人所有者の乗用馬を公苑施設内において飼育管理業務を行う預託馬事業を実施
する。 《新規》

(3) 事業協力

ア．群馬県馬術連盟主催馬術大会

イ．第67回国民体育大会

ウ．県民の日無料体験乗馬

エ．第23回酪農畜産フェスティバル

オ．国立大学対抗馬術大会

カ．教育・福祉施設等への協力

キ．地元富士見町との協調、協力体制

ク．その他各種行事、取材等への協力

ケ．周辺施設との協力体制

平成24年度 群馬県馬事公苑事業計画

月	実施事業	協力事業
4	乗馬少年団入団式 春休み体験乗馬教室 ショッピングセンター出張ポニー引き馬 第1回公苑乗馬大会 短期乗馬教室(4月期)	春季県馬術大会 あかぎ南ろく桜フェスタ事業協力
5	ナイター乗馬開始(～10月) こどもの日体験乗馬教室 平日無料体験乗馬会 体験乗馬2回コース、ステップアップ特別乗馬 B・C級騎乗者資格技能審査会 短期乗馬教室ステップアップ特別乗馬	関東ブロックミニ二国体選手選考県馬術大会
6	第2回公苑乗馬大会 短期乗馬教室(6月期) 親子乗馬教室 あいふるホースライディング交流会 ナイター体験乗馬2回コース	夏季県馬術大会 伊勢崎市教育研究所体験活動
7	夏休み体験乗馬教室 体験乗馬2回コース、ステップアップ特別乗馬	
8	夏休み体験乗馬教室 短期乗馬教室(8月期)	
9	第3回公苑乗馬大会 平日無料体験乗馬会 前橋市限定体験乗馬 50才以上体験乗馬4回コース ナイター体験乗馬2回コース 体験乗馬2回コース、ステップアップ特別乗馬	北関東学生馬術大会
10	第4回公苑乗馬大会 親子乗馬教室 短期乗馬教室(10月期) あいふるホースライディング交流会	酪農畜産フェスティバル体験乗馬 館林児童センター乗馬体験活動 赤城山麓いこいの里祭り体験乗馬
11	第5回公苑乗馬大会 秋のチャレンジ乗馬教室 親子乗馬教室 体験乗馬2回コース、ステップアップ特別乗馬	秋季県馬術大会 伊勢崎市教育研究所体験活動
12	チャレンジ乗馬4回コース 短期乗馬教室(12月期) 冬休み体験乗馬教室 【年末営業】	国立大学対抗馬術大会
1	初乗り会 【年始営業】 冬休み体験乗馬教室 体験乗馬2回コース、ステップアップ特別乗馬	
2	第6回公苑乗馬大会 短期乗馬教室(2月期) 親子乗馬教室 昼間体験乗馬2回コース	
3	体験乗馬2回コース、ステップアップ特別乗馬 50才以上体験乗馬4回コース あいふるホースライディング交流会 春休み体験乗馬教室 乗馬少年団終了式	早春県馬術大会

平成24年度収支予算書（正味財産増減計算ベース）

平成24年4月1日から平成25年3月31日まで

（単位：千円）

科目	24年度予算額 (A)	23年度予算額 (B)	増減 (A)-(B)	備考
一般正味財産増減の部				
1 経常増減の部				
(1) 経常収益				
基本財産運用益	3,218	3,218	0	
基本財産受取利息	3,218	3,218	0	
特定資産運用益	14	12	2	
特定資産受取利息	14	12	2	
受取補助金等	17,000	39,570	22,570	
指定管理受託料	17,000	39,570	22,570	
事業収益	51,605	40,536	11,069	
利用料金収益	10,743	32,414	21,671	
自主事業収益	40,862	8,122	32,740	
乗馬指導等収益	28,201	0	28,201	
預託料収益	2,640	0	2,640	
乗馬教室収益	3,330	2,918	412	
乗馬大会収益	4,512	3,400	1,112	
馬術技能審査会収益	221	141	80	
少年団収益	1,766	1,630	136	
その他収益	192	33	159	
雑収益	2,999	1,136	1,863	
受取利息	6	6	0	
雑収益	2,993	1,130	1,863	
経常収益計	74,836	84,472	9,636	
(2) 経常費用				
事業費				
役員報酬	2,268	3,301	1,033	
給料手当	29,047	32,370	3,323	
退職給付費用	1,619	3,123	1,504	
臨時雇賃金	6,589	8,501	1,912	
福利厚生費	5,761	6,659	898	
旅費	109	50	59	
報償費	390	300	90	
需用費	4,254	5,258	1,004	
食糧費	282	282	0	
消耗品費	843	1,041	198	
燃料費	345	325	20	
印刷製本費	77	217	140	
光熱水費	2,187	1,844	343	
修繕費	520	1,539	1,019	
動物購入費	0	10	10	

(単位：千円)

科 目	24年度予算額 (A)	23年度予算額 (B)	増 減 (A)-(B)	備考
役務費	1,999	2,191	192	
通信運搬費	330	364	34	
宣伝広告費	477	650	173	
手数料	44	29	15	
保険料	1,148	1,148	0	
飼育費	9,382	8,553	829	
飼料費	5,070	4,287	783	
敷料費	1,412	1,386	26	
装蹄費	2,100	1,900	200	
衛生費	500	630	130	
飼育消耗備品費	300	350	50	
馬購入費	500	220	280	
委託費	1,468	746	722	
使用料及び賃借料	164	152	12	
消耗什器備品費	541	460	81	
減価償却費	282	513	231	
負担金	89	0	89	
租税公課	2,161	2,537	376	
雑費	35	0	35	
事業費計	66,658	74,934	8,276	
管理費				
役員報酬	1,432	1,939	507	
その他報酬	0	22	22	
給料手当	4,311	4,837	526	
退職給付費用	328	301	27	
福利厚生費	891	1,082	191	
旅費	108	138	30	
需用費	636	567	69	
食糧費	45	35	10	
消耗品費	173	161	12	
印刷製本費	4	14	10	
光熱水費	414	357	57	
役務費	261	272	11	
通信運搬費	63	56	7	
手数料	198	216	18	
委託費	0	147	147	
使用料及び賃借料	28	28	0	
消耗什器備品費	16	0	16	
負担金	0	59	59	
租税公課	434	659	225	

(単位：千円)

科 目	24年度予算額 (A)	23年度予算額 (B)	増 減 (A)-(B)	備考
雑費	15	0	15	
管理費計	8,460	10,051	1,591	
経常費用計	75,118	84,985	9,867	
当期経常増減額	282	513	231	
2 経常外増減の部				
(1) 経常外収益				
経常外収益計	0	0	0	
(2) 経常外費用				
経常外費用計	0	0	0	
当期経常外増減額	0	0	0	
当期一般正味財産増減額	282	513	231	
一般正味財産期首残高	14,503	15,016	513	
一般正味財産期末残高	14,221	14,503	282	
指定正味財産増減の部				
基本財産運用益				
基本財産受取利息	3,276	3,276	0	
過年度基本財産受取利息	0		0	
一般正味財産への振替額			0	
一般正味財産への振替額	3,218	3,218	0	
当期指定正味財産増減額	58	58	0	
指定正味財産期首残高	199,824	199,766	58	
指定正味財産期末残高	199,882	199,824	58	
正味財産期末残高	214,103	214,327	224	